

外国語科学習指導案

福山市立神辺西中学校

- 1 日 時 2019年(令和元年)7月4日(木)6校時
- 2 学 年 1年1組 31名
- 3 単元名 Unit3 わたしの好きなこと (New Horizon English Course 1)

4 単元について

単元観

本単元では、単元末に「留学生の1日の行動計画を立てる」というパフォーマンス課題にチャレンジし、即興で情報を交換したり、互いの考えや気持ちなどを伝え合ったりすることをねらいとする。「留学生のホストファミリーやパディになる」という活動を通して、Unit1～3の学習内容がどのような場面で活用できるのか、実際の言語使用の場面をよりよく捉えさせることができると考える。

本単元からは一般動詞を取り扱うことによって、be動詞を中心とした自己紹介の内容をさらに深めるなど、表現の幅が広がることを生徒自身に味わわせることができる。また、「行動計画を立てる」という目的のもと、必然性のあるやり取りを行わせることによって、その場で質問したり質問に答えたりする力を身に付けさせることができると考える。

学習指導要領(外国語科)の「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」(話すこと[やり取り]—ア)に基づき、目的やねらいを持って、話し手と聞き手の役割を交互に繰り返す双方向でのコミュニケーション活動を行うことを重視している。

本クラスには、外国語パワーアップリーダーがいる神辺小学校出身の生徒が17人いる。出身小学校によって外国語活動の内容・時間にいくらかの違いがあり、4月の段階では特に「聞くこと・話すこと」における力やコミュニケーション活動に対する意識に差が感じられた。そこで、これまでの単元においては、間違いを恐れず積極的に英語を使うことを目的とし、帯活動のSmall Talkではbe動詞を用いた自己紹介や他者紹介の練習を継続して行ってきた。その結果、中間試験後に行った意識調査では、90%以上の生徒が、5領域の中で一番伸ばしたい力は「話すこと[やり取り]」であると答えている。また、「文法事項を正しく用いる」、「正しい語順で文を構成する」など、英語を書くことが苦手であると感じている男子生徒は70%を超えているが、女子のサポートによってペアワークやグループワークなどの協働的な活動を楽しみながら意欲的に行うことができている。

4月末時点では、5～6文の自己紹介ができる生徒は4割程度であったが、6月の中旬に行ったテストの結果は以下のとおりであった。この結果からSmall Talkにおける生徒同士のやり取りの積み重ねによって、互いに学び合い、高め合うことができつつあると考えられる。

【 6月上旬に行ったパフォーマンステスト：Speaking(文の数) 】

○課題： 自己紹介 ○制限時間： 30秒	10文以上	14人
	7～9文	10人
	5～6文	5人
	4文以下	2人

生徒観	【 本単元の事前に行った意識調査 】		
	○あなたは留学生のホストファミリーやパディになってみたいですか	なってみたい	13人
		主な理由： 実際に英語を使ってみたい、外国の人と友達になりたい	
		なりたくない	7人
		主な理由： 英語力に自信がない、何かあっても対応できない	
		今はなりたくない・わからない	11人
主な理由： もう少し英語がわかるようになってからでよい、今はまだ自分も相手も困るのではないか			
<p>上の意識調査の結果から、教科書による学習をすすめていくだけではなく、学習していることが実生活の中でどのように生かせるのかをできるだけ多く体験させることが、生徒の自信や今後の学習の動機づけにつながっていくと考えられる。</p>			
指導観	本単元の目標を達成するために、特に次の3点を焦点化して指導する。		
	①小学校での経験を生かし、Small Talk を通して、単元のターゲットセンテンスやつなぎ言葉などを自然な形で繰り返し練習させる。		
	②本単元で取り扱う文法事項は一般動詞（現在形）であるが、これまでに学習してきた be 動詞も合わせて取り扱い、スパイラルな学習を積み重ねさせる。		
	③留学生の行動計画を立てる際に、やり取りした内容を簡潔にまとめさせ、メモが会話を継続・発展させるために必要な手段の一つであることに気付かせる。		

5 単元目標

- 【表】自分の意見や考えを伝えたり、伝えた内容に対する質問に応答したりする。
- 【コ】目的（留学生の行動計画の作成）を達成するために、習ったことを活用して対話を継続・発展させる。
- 【知】一般動詞を含んだ文の形・意味・用法について身に付ける。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
目的を達成するために、習ったことを活用して対話を継続・発展させようとしている。	自分の意見や考えを伝えたり、伝えた内容に対する質問に応答したりすることができる。	/	一般動詞を含んだ文の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。

7 本校で身に付けさせる21世紀型“スキル&倫理観”（※太枠：本単元での重点項目）

課題発見・解決能力	思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力
自ら課題を発見し、身に付けた技能や既習事項を生かしながら、筋道を立て課題を解決しようとする力が身に付いている。	課題を解決するために既習事項を生かし、対話を通じて、互いの相違点を理解し、深い学びを目指すことができる。	自己と他者の違いを受け入れ、協働しながら課題を解決し、よりよい生活を目指し続けようとしている。

8 単元ゴール

<p>コミュニケーションの 目的・場面・状況</p>	<p>留学生が希望に沿った1日を過ごせるように、積極的にやり取りを行うことによって、簡潔で具体的な行動計画を立てる。</p>
<p>目指す発話例</p>	<p>A : student B : ALT (留学生の役)</p> <p>《対話例①》</p> <p>A : I like sports. Do you like sports ? B : Yes, I do. A : What sports do you like ? B : I like swimming. A : Are you in the swimming club ? B : No, I'm not. I don't have club activities. A : Oh, really ? You don't have club activities. I'm a member of the basketball club. Do you want to play basketball ? B : No, I don't. I'm not good at playing it. But I like watching basketball. A : Sounds good. In the afternoon, let's enjoy watching a basketball game in Rose Arena.</p> <p>《対話例②》</p> <p>A : What do you like to do in your free time ? B : I like to listen to music. A : Me, too. I'm into listening to music. What kind of music do you like ? B : I like K-pop. A : Oh, really ? I'm a fan of TWICE. Do you like TWICE, too ? B : No, I don't. I like BTS very much. A : Wow !! I love BTS, too. B : RM is very cool. A : I think so, too. What's your favorite song ? B : My favorite is "Don't Leave Me." A : Sounds perfect. In the afternoon, let's enjoy karaoke with my family.</p>

9 小学校外国語活動を踏まえた指導の工夫

- ①簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。
- ②関連する言語材料

We Can! 1, 2	We Can! 1, 2 → 中学校	中学校
<<We Can! 1 : Unit1>> ○My name is ●●. ○I like △△. ○Nice to meet you. <<We Can! 2 : Unit1>> ○My birthday is □□. ○My favorite is ▽▽. ○I'm good at ◇◇.	今まで学習してきた表現を思い出し ながら、詳しい自己紹介を聞いたり、 話したりする。 →既習事項 (be 動詞) に一般動詞を 用いた表現を加えることで、より詳 しく且つ、つながりを考えた自己紹 介を行う。 また、互いのことをよりよく知るた めの質疑応答を行う。	○I'm ●●. Please call me ●. ○I like sports. My favorite sport is tennis. So, I'm in the tennis club. ○I'm a fan of △△. Are you a fan of △△, too ? ○I often go fishing. Do you like fishing ?

10 単元計画 (全9時間)

時	目標 (◆), 発話量の目安 (*) など	評価規準 [評価方法]
1 . 2	◆単元末のパフォーマンス課題について理解する。 ◆これまでの自己紹介を振り返り、留学生と仲良くなるには、自分自身のことをよく知っ てもらうには、どんな紹介内容がよいのかを再考する。 (* 7~8文程度) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Hi, I'm Akiko Makihara. Please call me Aki. I like playing basketball. So, I'm in the basketball club. I practice it after school. I'm a fan of Warriors. My favorite basketball player is Stephen Curry. Do you like basketball ? </div>	イ[後日、パフォーマンス テスト]
3 . 4	◆空港で自分の家に訪れる留学生を見つけ、簡単なあいさつや自己紹介をすることができ る。 (* 3往復程度) A : students B : 留学生役になった生徒 S : stranger <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> << 失敗バージョン >> A : Excuse me. Are you ○○ ? S : No, I'm not. A : Oh, I'm sorry. I have the wrong person. S : It's OK. << 成功バージョン >> A : Excuse me. Are you ○○ ? B : Yes, I am. A : Hi, ○○. I'm Akiko Makihara. Please call me Aki. B : Hi, Aki. Nice to meet you. A : Nice to meet you, too. << ウェルカムボード編 >> B : Hi, I'm ○○. A : Hi, ○○. I'm Akiko Makihara. Please call me Aki. B : Hi, Aki. Nice to meet you. A : Nice to meet you, too. How was your flight ? B : Good. A : I can help you with your baggage. </div>	イ[後日、パフォーマンス テスト]

5 ・ 6	<p>【 本時 】</p> <p>◆目的（留学生の行動計画の作成）を達成するために、習ったことを活用して対話を継続・発展させようとしている。 （* 3～4 往復程度）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>≪ 午前 ≫</p> <p>A: What subject are you good at? B: I'm good at ○○. A: Do you like music or art? B: I like art.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>≪ 午後 ≫</p> <p>A: What do you like to do in your free time? B: I like to see movies. A: Me, too. What kind of movie do you like? B: I like horror. A: Oh, really? Do you know Sadako? B: Yes, I do. A: Sounds perfect. Let's enjoy a horror movie in Fuji-Gran.</p> </div>	ア[観察・ワークシート]
7 ・ 8	◆一般動詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。教科書の本文のディクテーション、内容理解、音読など	エ[ワークシート]
9	◆積極的にやり取りを行うことによって、留学生の希望に沿った行動計画を立てることができる。	ア、イ [パフォーマンステスト]
後 日	◆一般動詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。	エ[期末テスト]

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

○相手の意向に応じた具体的な行動計画を立てる。

(2) 本時の評価規準

○目的（留学生の行動計画の作成）を達成するために、習ったことを活用して対話を継続・発展させようとしている。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

(3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
10 分	<p>1 Warm-up</p> <p>≪ Welcome to TNB(空港編) ≫</p> <p>・空港で自分の家に訪れる留学生を見つけ、簡単なあいさつをする。</p> <p>≪ Small Talk ≫</p> <p>・ペアごとに、「自己紹介」をベースにした対話を1分間続ける。</p>	<p>○Unit 1～2までに学習したことをどのように活用することができるのかを味わわせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: Excuse me. Are you ○○? B: Yes, I am. A: Hi, ○○. I'm Akiko Makihara. Please call me Aki. B: Hi, Aki. Nice to meet you. A: Nice to meet you, too.</p> </div> <p>○自己紹介ではあるが、一方的に話す形ではなく、相手の言ったことに相づちをうつなどの反応を心がけ</p>	

	<p>留学生：バディの質問に答え、自分の希望や好みを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の中で、互いの行動計画を確認し合う。 ・時間があれば、ペアを変えて、再度計画作成に挑戦する。 	<p>てもよい)を残させる。</p> <p>○行動計画を立てる過程のやり取りにおいて、困ったことやうまくいったところを全体で共有させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's try①と違って、ポインティングで乗り切ることができないので困った。 →どんなことを尋ねたかったのかを確認し、その表現のしかたを全体で考えさせる。 ・やり取りが行き詰ったときに、どうしていいかわからなくて困った。 →「相手の好きなもの、はまっていることなどをたくさん聞き出せたことが役に立った」など、対話を継続・発展させることができたペアの声を反映させる。 	
2分	<p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルテを記入する。 	<p>○振り返りカードの記入によって、ALT と行うパフォーマンス課題に向けての改善点に気付かせたり、目標を持たせたりする。</p>	

(4) 準備物

○プロジェクター ○スクリーン ○パソコン ○ワークシート ○タイマー

1 2 パフォーマンステスト (ALT とのやり取り)

評価の観点	関心・意欲・態度	表現 (その1 : やり取り)	表現② (その2 : メモ)
A	習ったことを積極的に使って、相手の意向を理解しながらやり取りを続けようとしている。	○留学生の好みを反映した行動計画を立てるために、自分の考えを伝えたり質問したりすることができ、さらに相手の意見や応答に応じて質問をすることもできる。	○留学生の好みを反映した行動計画を立てることができる。(①~③または①~④) ※計画に残すべきメモ： ①午後はどこで何をするのか ②夕食はどこで何を食べるのか ③行動を決定づけた根拠 ④行動計画に反映できないがその他に得た情報
B	習ったことを積極的に使って、やり取りを続けようとしている。	○留学生の好みを反映した行動計画を立てるために、自分の考えを伝えたり質問をしたりすることができる。	○留学生の好みを反映した行動計画を立てることができる。(①②または①③) ※計画に残すべきメモ： ①午後はどこで何をするのか ②夕食はどこで何を食べるのか

			③行動を決定づけた根拠
C	自ら積極的にやり取りを続けようとしていない。	○留学生の好みを反映した行動計画を立てるために、自分の考えを伝えたり質問したりできない。	○留学生の好みを反映した行動計画を立てることができない。

【 表現（その1：やり取りの例） 】

《 A（5点） 》

A : I like sports. Do you like sports ?

B : Yes, I do.

A : What sports do you like ?

B : I like swimming.

A : Are you in the swimming club ?

B : No, I'm not. I don't have club activities.

A : Oh, really ? You don't have club activities.

I'm a member of the basketball club.

Do you want to play basketball ?

B : No, I don't. I'm not good at playing it.

But I like watching basketball.

A : Sounds good. In the afternoon, let's enjoy watching a basketball game in Rose Arena.

《 B（3点） 》

A : What club are you in ?

B : I don't have club activities.

A : Oh, really ? What sports do you like ?

B : I like swimming. How about you ?

A : I like basketball very much.

So, I'm a member of the basketball club.

I'm a big fan of DRAGONFLIES.

B : I don't like playing basketball.

But I like watching it.

A : Sounds good. Let's enjoy watch a basketball game in Rose Arena.

外国語科学習指導案

福山市立神辺西中学校

- 1 日 時 2020年（令和2年）1月23日（木）6校時
- 2 学 年 1年1組 31名
- 3 単元名 Unit 1 1 思い出の1年 （New Horizon English Course 1）
- 4 単元について

単元観	<p>本単元では、1年間の思い出を振り返るというテーマに基づいた内容が取り扱われ、一般動詞の過去形についての学習がスタートする。教科書の本文以外にも、サンタクロースへの手紙の中で「今年自分が頑張ったこと」を書いたり、パフォーマンス課題の中で「ALTの体験談」を聞いたり読んだりすることを通して、過去形を用いた文の働きを自然な文脈の中で理解・習得させることができると考える。</p> <p>また、本単元においては、学習指導要領（外国語科）の「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」（話すこと[やり取り]—ウ）に基づき、「得た情報を基にやり取りを行い、互いの考えなどを共有・交換できるようになること」を重視している。そこで、単元末に行うパフォーマンス課題として、「ALTの体験談（日本以外の国でどのように年末年始を過ごしたのか）を聞いたり読んだりして、実際に自分が冬休みに訪れてみたい国とその理由などを伝え合う」という課題を設定している。</p>												
生徒観	<p>本クラスには、小学校外国語パワーアップ事業の研究指定校である神辺小学校出身の生徒が17人いる。出身小学校の違いによって、1学期は特に「聞くこと・話すこと」における力やコミュニケーション活動に対する意識に差が感じられた。しかし、小学校からの流れも踏まえ、帯活動の中で Small Talk を継続して行うことにより、2学期末に行った意識調査では次のような変化が見られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">調査項目</th> <th style="width: 15%;">1学期</th> <th style="width: 15%;">2学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動に意欲的に取り組んでいる。</td> <td>68%</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>相手に質問して、自分が知りたい情報を聞き出す活動に意欲的に取り組んでいる。</td> <td>56%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>外国に行ってみよう、ホストファミリーにならなりたい。</td> <td>52%</td> <td>62%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、ALTの紹介によって、16名の生徒が自己紹介や好きなもの・人紹介などの内容を書いた手紙を準備し、スコットランドの中学生との文通にチャレンジした。これらの結果から、「間違いを恐れず英語で話してみよう」、「習ったことを実際に使ってみよう」という意欲は高まりつつあると考えられる。</p> <p>しかし、2学期から追加した「聞いたり読んだりしたことを基に、意見を交換する活動に意欲的に取り組んでいる」という項目に対する肯定的評価は52%にとどまっている。振り返りカードには、「話したい気持ちはあるが内容が聞き取れない、読み取れない」、「単語ならなんとかなるけど、文で話そうとするとよくわからなくなる」などの困り感や不安な気持ちが書かれていた。このことから、生徒の思いを受け止めながら、実態に応じて、段階的に指導することも必要であると考えられる。</p>	調査項目	1学期	2学期	自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動に意欲的に取り組んでいる。	68%	82%	相手に質問して、自分が知りたい情報を聞き出す活動に意欲的に取り組んでいる。	56%	70%	外国に行ってみよう、ホストファミリーにならなりたい。	52%	62%
調査項目	1学期	2学期											
自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動に意欲的に取り組んでいる。	68%	82%											
相手に質問して、自分が知りたい情報を聞き出す活動に意欲的に取り組んでいる。	56%	70%											
外国に行ってみよう、ホストファミリーにならなりたい。	52%	62%											
指導観	<p>本単元の目標を達成するために、特に次の3点を焦点化して指導する。</p> <p>（※①：主体的な学び、②対話的な学び、③深い学び）</p> <p>①何のために聞いたり読んだりするのかを明確に伝え、一人ひとりにチャレンジングな課題を与える。</p> <p>②「聞くこと」「読むこと」と「話すこと」を関連付けた活動を行わせることによって、得た情報を共通の話題としてやり取りを展開する力を身に付けさせる。</p> <p>③聞き取ったり読み取ったりした内容（外国のクリスマスや年末・年始の過ごし方など）を比較し、自分の考えを形成し表現させる。</p>												

5 単元目標

- 【表】聞いたり読んだりして得られたことを基に、自分の考えや気持ちを伝え合う。
- 【コ】共通の話題に関する理解を深めるために、ペアやグループで積極的に話をしようとする。
- 【知】過去形を用いた文の形・意味・用法について理解する。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
共通の話題に関する理解を深めるために、ペアやグループで積極的に話をしようとしている。	聞いたり読んだりして得られたことを基に、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	/	過去形を用いた文の形・意味・用法に関する知識を身につけている。

7 本校で身に付けさせる21世紀型“スキル&倫理観”（※太枠：本単元での重点項目）

課題発見・解決能力	思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力
自ら課題を発見し、身に付けた技能や既習事項を生かしながら、筋道を立て課題を解決しようとする力が身に付いている。	課題を解決するために既習事項を生かし、対話を通じて、互いの相違点を理解し、深い学びを目指すことができる。	自己と他者の違いを受け入れ、協働しながら課題を解決し、よりよい生活を目指し続けようとしている。

8 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	A L Tの体験談を聞いたり読んだりする活動を通して、日本と外国の年末年始の過ごし方を知り、冬休みに自分が訪れてみたい国とその理由を伝え合うことができる。
目指す発話例	<p>A, B, C : students</p> <p>《対話例》</p> <p>【 読み取った内容（それぞれの国における年末・年始の様子）の交流（※可能なら感想も合わせて伝える） 】</p> <p>A : 読み取った内容（ about Russia ） + 感想</p> <p>B : 読み取った内容（ about New Zealand ） + 感想</p> <p>C : 読み取った内容（ about Canada ） + 感想</p> <p>【 読み取った内容を基に、自分が訪れてみたい国についての交流 】</p> <p>A : I want to go to New Zealand.</p> <p>B : Me, too.</p> <p>A : Which country do you want to go ?</p> <p>C : I want to go to Canada.</p> <p>B : You like music, right ?</p> <p>C : Yes. I'm into rock music.</p> <p>So, I want to join a music event.</p> <p>I want to try singing and dancing all night long.</p> <p>A : Oh, I see. What do you want to do in New Zealand ?</p> <p>B : I want to enjoy surfing with Santa Claus.</p> <p>A : Sounds good.</p>

9 小学校外国語活動を踏まえた指導の工夫

	We Can! 2	中学校
言語活動	日常生活に関する身近な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、互いに質問したり、その質問に答えたりして伝え合う活動	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容を基に、自分の考えや気持ちを伝え合ったうえで、互いに質問したり、その質問に答えたりする活動
言語材料	<<Unit5: My Summer Vacation>> ○I went to the sea. I enjoyed fishing. I ate fresh fish. It was delicious. <<Unit7: My Best Memory>> ○We went to Nara. We saw Daibutsu. We enjoyed shopping. It was fun.	On New Year's Eve, I visited my uncle's house. I tried mochi pouding with my cousins. It was exciting. We had kimuchi-nabe for dinner. It was really hot. After dinner, we enjoyed watching a music show on TV.
	We Can! 1	中学校
言語材料	<<Unit6: I want to go to Italy.>> ○I want to go to China. You can see the Great Wall. It's wonderful.	I want to go to France. I like eating very much. So, I want to eat a gorgeous dinner at a restaurant near the Eiffel Tower.

10 単元計画 (全9時間)

時	目標 (◆), 発話量の目安 (*) など	評価規準 [評価方法]
1	◆単元末のパフォーマンス課題について理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (* 3往復以上) << 小学校での学習内容を思い出させる >> A: Where did you want to go? B: I wanted to go to America. A: America? What did you want to do there? B: I wanted to watch a basketball game. How about you? A: I wanted to go to America, too. B: Oh, really? Why? A: I wanted to watch a baseball game. I wanted to see Shohei Otani. </div>	
2 ・ 3	◆ALTや先生が書いたサンタクロースへの手紙の内容を聞き取ったり、読み取ったりして、互いに伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (* 3往復以上) A: I think Ms.●● wants a new car. What does she want for Christmas? B: She wants a dog. A: A dog? Which does she want, a big one or a small one? B: She wants a big dog. A: Did she do something good this year? B: Yes, she did. First, she joined a volunteer activity. Second, she cooked special curry for her family. A: Oh, I see. </div>	ア [観察・ワークシート]

4	<p>◆クリスマスについてのやり取りを行い、その内容を基にサンタクロースに手紙を書く。</p> <p>(* 3往復以上) A: What do you want for Christmas? B: I want a smartphone. A: Me, too. I want iPhone11. Did you do something good this year? B: Yes, I did. A: Sounds perfect. Please tell me. B: All right. First, I cleaned the bathtub every day. Second, I washed the dishes after dinner. A: Great job!!</p>	ア [観察・ワークシート]
5 . 6	<p>◆友達の部活動の様子や冬休みの思い出について聞き取ったり、読み取ったりして、互いに伝え合う。【教科書p.118, 120】</p> <p>(* 3往復以上) A: How was your winter vacation? B: It was hard. A: Hard? What did you do? B: I practiced soccer with my teammates. And, I had a lot of homework. How about you? What did you do? A: I visited my grandparents. I tried mochi pounding with my cousins. B: Sounds exciting. I want to try it someday.</p>	ア [観察・ワークシート]
7 . 8	<p>【 本時 (教科書p.116) 】</p> <p>◆聞いたり読んだりして得られたことを基に、グループで積極的に意見交流を図る。</p>	ア [観察・ワークシート]
9	◆聞いたり読んだりして得られたことを基に、自分の考えや気持ちを伝え合う。	イ [パフォーマンステスト]
後 日	◆過去形を用いた文の形・意味・用法に関する知識を身に付ける。	エ [単元末テスト・ 学年末テスト]

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

○聞いたり読んだりして得られたことを基に、グループで積極的に意見交流を図る。

(2) 本時の評価規準

○共通の話題に関する理解を深めるために、ペアやグループで積極的に話をしようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
5 分	<p>1 Warm-up</p> <p>≪ Small Talk ≫</p> <p>・ペアごとに1分間、与えられたテーマ (冬休み) について話をする。</p>	<p>○相手の言ったことに相づちをうつなどの反応を心がけさせ、英語での自然なやりとりを目指させる。</p> <p>A: What did you do in the winter vacation? B: I practiced baseball with my teammates. It was very hard. How about you?</p>	

		<p>A : I went shopping with my big sister. B : Where did you go ? A : We went to Fuji Grand.</p>	
10分	<p>2 Review</p> <p>《 Reproduction 》</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストや写真を示しながら、自分が持っている情報（教師の年末年始について）を友達に伝える。 	<p>○前時の授業で聞き取った教師の冬休みについての話のリプロダクションに挑戦させる。</p> <p>Ms. Sato went to karaoke with her family. She likes singing very much. She sang more than ten songs. I think she is a great singer.</p> <p>Ms. Makihara visited her grandparents. She is not good at cooking. But she tried making osechi. I think she did a good job !</p>	
8分	<p>3 Activity</p> <p>《 Let' s Listen 》</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の本文内容（p. 116）を聞き取り、大切な情報をメモする。 	<p>○大晦日や元日の出来事についてのメモをとらせ、次の活動のポイントとなる部分を想起させる。</p>	
25分	<p>4 学習課題の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいを確認する。 <p>《 Let' s Read 》</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人1組を作る。 3人がそれぞれ異なる体験談（外国の年末年始の様子が書かれているカード）を読んで、必要な情報をメモする。 <p>《 Let' s Share① 》</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ内で、メモやイラストを基に、自分が読み取った内容をレポートする。 	<p>外国の年末年始についての文章を読んで、 ①その内容をグループの中で伝え合おう ②互いのレポートを聞いたうえで、どこ国に行ってみたいかを交流しよう</p> <p>○ALTが書いた体験談の内容を読み取らせ、キーワードをメモさせる。必要であれば、イラストを描いてもよいことを伝える。</p> <p>○一人ひとりが責任を持って活動することを促す。 ○メモを活用させながら、リプロダクションに挑戦させる。可能であれば、事実や出来事だけでなく、自分の感想も合わせてレポートさせる。 ○互いのレポートを聞いたうえで、尋ねてみたいことがあるらば質問させたり、その質問に答えさせたりする。生徒同士のやり取りで解決できない内容は後日、ALTに尋ねさせる。</p>	ア【観察、ワークシート】

	<p>・メンバー全員がレポートし終わったら、自分がどの国に行ってみたくと思ったのかを互いに伝え合う。</p> <p>《 Let' s Share② 》</p> <p>・1回目とは異なる3人1組を作り、再度、読み取った内容をレポートし、自分がどの国に行ってみたくかを交流する。</p>	<p>○行きたい国とその理由やそこでやってみたくなことなどについて意見交流させる。</p> <p>○代表のグループに全体の前で交流の様子を披露させ、生徒自身による気づきを促したり、困ったことや気になることがあれば、それをクラス全体で共有させたりして、Let' s Share②につなげる。</p> <p>○Let' s Share①後の気づきを生かして、自分の行きたい場所やそこでやりたいことを具体的に話したり、互いに質問し合ったりするなど、レポートの後の意見交流が活発になっているかを確認する。</p>	
2分	<p>5 まとめ</p> <p>・カルテを記入する。</p>	<p>○振り返りカードの記入によって、パフォーマンス課題に向けどういふ点を改善すればよいかを確認したり、授業内容を家庭学習とリンクさせたりする。</p>	

(4) 準備物

○プロジェクター ○スクリーン ○パソコン ○ワークシート ○タイマー

12 パフォーマンス課題 (※3人1組による意見交流)

評価の観点	関心・意欲・態度	表現 (*本単元においては、"accuracy-based"ではなく、生徒が伝えようとしている内容を重視する)
A	○ペアやグループでの意見交流において、既習事項やつなぎ言葉などを活用して、積極的に話をしようとしている。	○聞いたり読んだりしたことを基に、自分が訪れてみたい国とその理由やそこでやってみたくことを伝えることができる。 ○他のメンバーのレポート内容や気持ち・考えなどを聞いて、自分が尋ねてみたいことを質問したり、相手からの質問に答えたりすることができる。
B	○ペアやグループでの意見交流において、間違いを恐れず、積極的に話をしようとしている。	○聞いたり読んだりしたことを基に、自分が訪れてみたい国とその理由やそこでやってみたくことを伝えることができる。
C	○ペアやグループでの意見交流に積極的に参加できていない。	○聞いたり読んだりしたことを基に話すことができていない。 ○自分が訪れてみたい国のみで、その理由やそこでやってみたくことを伝えることができていない。